

Business Sustainability

事業によるサステナビリティ

事業を通じてパラマウントグループが提供したい価値は、
あらゆる人のウェルビーイングです。

世界中がサステナブルな社会を目指し、一体となって動いている今。

わたしたちもまた、そんな社会とともに成長するために、

6つのマテリアリティ（重要課題）を掲げて事業活動を行っています。

すべての人の健康と幸せに寄り添う、わたしたちの挑戦です。

6つのマテリアリティ（重要課題）

MATERIALITY

1



持続的な医療・介護体制整備の支援

- 医療・介護の効率化・働き方改革支援
- 看護・介護従事者に対する教育への支援
- 非常事態時における支援供給体制



MATERIALITY

2



すべての人が健康でいきいきと暮らせる環境づくり

- 科学的な根拠に基づく睡眠環境提案
- アスリートへの睡眠改善提案を通じたパフォーマンス向上支援
- 次世代の担い手への育成支援



MATERIALITY

3



製品安全の追求

- 製品安全のための体制整備
- 安全な使い方の啓発
- 業界横断的な取り組みへの積極的関与



MATERIALITY

4



従業員の健康・ダイバーシティ・働き方改革の推進

- 従業員の健康・労働安全への取り組み
- ダイバーシティの推進
- 働き方改革の推進



MATERIALITY

5



環境に配慮した事業活動

- 生産プロセスにおける環境負荷の低減
- プロダクトライフサイクル全般を通じた環境負荷の低減
- 循環型社会実現への貢献



MATERIALITY

6



コンプライアンスの徹底

- 企業倫理の取り組み
- 公正取引の徹底
- 透明性の高いガバナンスの推進



MATERIALITY

1

持続的な医療・介護体制整備の支援

医療と介護の現場は、人々の健やかな暮らしを支える基盤です。

しかし今、その現場が大きな転換期を迎えています。

誰もが安心してケアを受けられる未来のために。

私たちは医療・介護の課題に寄り添い、

持続可能な体制づくりに貢献します。



取り組みを通して達成を目指すSDGs項目



医療事業

医療の質向上と 現場の持続可能性を守る 「3つの提供価値」

深刻な医師不足や働き方改革、光熱費・資材費の高騰など、医療機関の経営環境は混迷を極めています。私たちは、医療の質を維持しながら現場を支え続けるため、「アメニティ」「スタッフィング」「デジタル・センシング」の3軸で価値を提供しています。初期投資を抑えるリカーリングモデルや、センサー活用による業務負担軽減など、病院ごとの課題に寄り添った多角的なソリューションを展開。単なる製品提供にとどまらず、患者満足度の向上と病院経営の持続性をともに創り上げるパートナーとして、日本の、そして世界の医療現場の未来を支えます。

患者満足度向上、
設備投資負担軽減、
経営改善へ寄与

①アメニティ



病棟備品レンタル・修繕、
テレビ・冷蔵庫・Wi-Fi等利用サービス
入院セット など

業務効率化、
タスクシフティング支援、
医療安全向上等への貢献

②スタッフィング
(常駐サービス)

ベッドセンター業務、
各種医療機器管理、看護助手、
コンシェルジュ など

③デジタル・センシング



「離床CATCH」、
「スマートベッドシステム」 など

医療事業

M&Aによる循環器領域のソリューション強化

医療現場の課題解決に貢献するため、M&Aを加速しています。異なる領域の見解を持つ企業との提携により、ベッドや備品の提供から診断・治療支援へとソリューションを拡大中です。循環器領域では、心不全悪化の早期発見を目指す「RST®算出プログラム」を開発したハートラボ株式会社と、小児用体外設置式補助人工心臓システムを扱う株式会社カルディオの2社をグループ化しました。多様なアプローチから循環器領域のソリューションを強化し、今後も質の高い医療体制の維持・発展を支えていきます。

診断・治療支援
(カルディオ・ハートラボ)

医療DX・
経営改善支援
(スマートベッド・
リカリング関連)



看護・
療養環境支援

「スマートベッドシステム」による医療安全の向上

医療安全の向上と現場の負担軽減に向け、「スマートベッドシステム」の普及を進めています。本システムは、ベッド内蔵のセンサーが検知した離床情報や睡眠・生体情報を、リアルタイムで電子カルテやモバイル端末などへ連携する仕組みです。このデジタルセンシング技術により、患者の転倒・転落リスクの低減と、見守りを行うスタッフの負担軽減を同時に実現。テクノロジーの力で最適なケアをサポートし、より安全で質の高い医療環境の整備を支えています。



MATERIALITY 1 | 持続的な医療・介護体制整備の支援

心の準備ツール「ぶれパレット」の開発

あらかじめ子どもたちに病気や検査、治療のことをわかりやすく説明し、不安や恐怖を和らげる「プレパレーション」。その重要性は認識しつつも、医療行為とはちがいが決まりがないため、医療スタッフにとって取り組みにくいという問題があります。当社はNPO法人チア・アートと共同で、初めてのプレパレーションを行う看護師でもわかりやすく子どもたちに説明できる支援ツール「ぶれパレット」を制作。医療関係者に無償提供を行っています。



WELL-BEING for サイト 関連記事

介護事業 施設介護

テクノロジーの力で、 介護現場に「心のゆとり」を

人手不足が深刻化する介護現場において、DX化による業務効率化は喫緊の課題です。私たちは、累計約30万台の導入実績を持つ「体動センサ」と、その情報を遠隔で一括管理・共有できる見守り支援システム「眠りCONNECT」を軸にプラットフォームを展開しています。排泄ケアや体重測定などの周辺機能ともシステムを拡充・連携させることで、スタッフの肉体的・精神的負担を軽減し、入居者への直接的なケアの時間を創出。施設から在宅まで、蓄積された生体データをAIで活用するソリューションを推進し、データに基づいた質の高いケアを支援します。



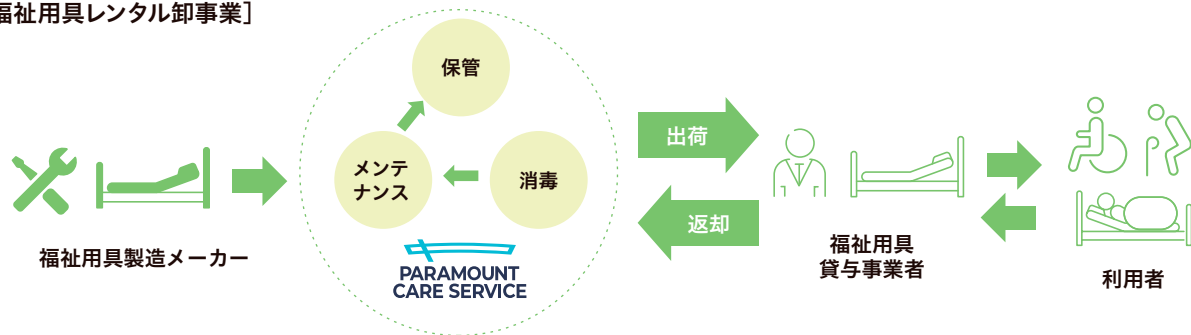
※「眠りCONNECT」との連携イメージ

介護事業 在宅介護

リカーリングモデルの深化で在宅ケアをより身近に

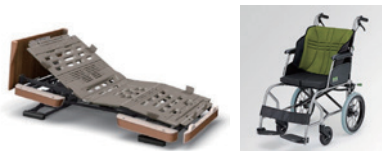
私たちは、住み慣れた自宅で最期まで暮らしたいという願いに応えるため、在宅介護向けソリューションを提供しています。福祉用具レンタル卸事業を通じたリカーリングビジネスでは、利用者一人ひとりの状況に合わせた最適な用具の選定や、家族・ケアマネジャーの負担を軽減するアプリの提供など、在宅ケアを包括的に支える仕組みを構築。循環型ビジネスを深化させることで、長期にわたる安心を提供し、地域包括ケアシステムの要としての役割を果たしていきます。

[福祉用具レンタル卸事業]



福祉用具の進化と充実

- ベッドの進化
- 事業者アプリ開発
- オリジナル福祉用具の充実



事業者も利用者も助けるソリューション

- 保険外サービス創出
- 施設向けソリューションの在宅展開
- 製品の再資源化



在宅療養環境でも
提供開始

レンタル卸シェアアップ

- メンテナンス・営業拠点開発
- 貸与事業支援システム開発
- レンタル資産保有高拡大



「眠りCONNECT」を

在宅療養環境でも提供開始

介護施設向けに販売してきた「眠りCONNECT」に、在宅療養環境でも利用できるラインアップを追加しました。Wi-Fi環境が整っていない介護施設や自宅でも利用可能となり、住み慣れた場所で安心して生活を継続できる環境づくりに寄与します。

介護事業

在宅向け介護ベッド「楽匠Fit」シリーズを発売

2025年8月に在宅向け介護用ベッド「楽匠Fit」シリーズを発売しました。本製品は、累計販売台数 23万台を超える主力製品「楽匠プラス」シリーズの後継機種です。ずれ軽減と体圧分散を強化した新構造「フィットラインボトム」や、直感的に使える「液晶タッチパネル付き手元スイッチ」を採用しています。高齢化に伴って在宅療養のニーズが高まるなか、当社は「誰もが心地よく過ごせる療養環境」の実現を目指しています。



スタッフの負担を軽減し、利用者の尊厳を守る排泄ケアDX

介護サービスにおける排泄ケアは、利用者の健康状態を把握するための重要な業務です。一方で、排泄の頻度や排泄物の状態をスタッフが確認するのは身体的・精神的に大きな負担となります。また、利用者の尊厳を守るという観点からも、排泄ケアを自動化するテクノロジーが求められていました。そこでパラマウントベッド株式会社は、センサーによる排泄ケアのDX化を提案。おむつへの排泄の自動検知や、トイレの利用および排泄物の状態の自動記録を実現しました。さらに「眠りCONNECT」と連携することで、排泄情報に加え、睡眠・体重・温湿度記録の一元管理も可能です。スタッフの負担を軽減することができ、離職防止にもつながっています。これらの排泄ケアDXソリューションは、「人間として当たり前のことを、当たり前にできるようにする」という想いから生まれたものです。テクノロジーの力で、人が「本当にやるべきこと」に集中できるように支援していきます。

トイレDIARY

便器に設置し、着座や尿や便の状態をAIが自動記録するシステム。職員が同室せず結果のみをアイコン通知するため、利用者のプライバシーと尊厳を最優先で守ります。



トイレ内の状況を共有

おむつCOLOR

紙おむつ内の色の変化から排泄をリアルタイム検知するセンサー。排泄タイミングを自動で可視化・蓄積し、個別の排泄リズムに基づいた先回りのケアを可能にします。



ベッドの上の状況を共有

眠りCONNECT (システム全体を統括するプラットフォーム)

海外展開

世界に持続可能な医療インフラを届け、医療格差解消に貢献

アジアや中南米を中心に拠点を展開し、各国固有の社会課題に合わせたソリューション提供を加速させています。単に製品を輸出するのではなく、インドでの新工場拡張による安定供給体制の構築や、インドネシア工場での環境配慮型ラインの導入など、現地に密着した事業活動を推進。また、新興国における看護技術の移転支援を通じて、教育・ソフト面でも貢献しています。各国のニーズに合わせた製品のローカライズと、現地の雇用創出やエンジニア育成を並行して行うことで、持続可能な医療インフラを世界各地で共創していきます。



海外展開

遠隔医療DXにより ASEANに新たな医療インフラを構築

ASEAN地域における医療格差の解消に向け、日本発の遠隔医療DX技術を活用する構築実証事業を始動しました。この事業では、専門人材が不足する義肢装具分野において、3DスキャンやAI、3Dプリントを用いた遠隔製造技術を導入します。長年現地で培った病院ネットワークを基盤に、まずはインドネシアやタイで各国の環境に合わせた社会実装を推進。さらにベトナムでの展開も進め、他の遠隔医療DX領域への展開可能性を検証します。義肢装具製造を起点に、誰もが適切な医療へアクセスできる、持続可能な次世代の医療インフラ構築を目指します。

パラマウントの
強固なアジア病院ネットワークで、
この仕組みをASEANに拡大！



インド工場がグリーンビルディング認証を取得

2024年に操業を開始したインドのパワル工場は2026年3月、現地のグリーンビルディング認証制度「IGBC Green Factory Building Rating」のGold認証を取得しました。急速な経済成長が続くインドでは、環境課題への対応が社会的に重要なテーマとなっています。こうしたなか、当工場は環境配慮を設計思想として取り入れ、省エネルギーや資源の有効活用などの取り組みを進めてきました。なお、当社グループは2030年までに、インドにおける市場シェア3割を目指して活動してまいります。



グリーンビルディング認証制度のGOLD認証を取得

MATERIALITY 1 | 持続的な医療・介護体制整備の支援



インド・パワル工場（外観）



太陽光発電などの再生可能エネルギー活用を推進



MATERIALITY

2

すべての人が健康で いきいきと暮らせる環境づくり

健康であること、そして自分らしくあること。

それは、一人ひとりが健やかに暮らせる未来の原点です。

私たちは、それぞれのライフステージに寄り添い、

心地よい睡眠と、心身の豊かさを育む環境を追求。

年齢や環境を問わず、すべての人が輝ける社会の実現を目指して
歩みを進めています。

取り組みを通して達成を目指すSDGs項目



健康事業

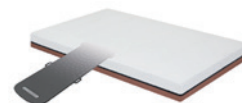
眠りで毎日に活力を。睡眠改善をサポートする健康ブランドを展開

現在、日本は先進国の中でも睡眠時間が最短レベルにあり、生産性損失という大きな社会課題に直面しています。この課題に対し、私たちは健康事業領域にて「Active Sleep」ブランドを展開。医療・介護で培ったスリープテックをベースに、自動で角度が変わるベッドをはじめ、個々の睡眠状態にフィットするマットレスや枕、ライトなど、多彩な睡眠サポート機器で眠りの質を高めてきました。

さらに現在は、睡眠を起点とした「運動」「美容」「IoT連携」といった多様な領域との新たな価値創造にも挑戦しています。CVC活動を通じて外部パートナーとの共創を加速し、睡眠課題の解決から、一人ひとりの活力の最大化をサポートしていきます。

睡眠課題

各種寝具や睡眠サポート機器



マットレス



枕



「Active Sleep BED」



睡眠サポート機器

新たな価値創造にチャレンジ【CVCを通じた共創】

Link

IoT連携

SISI

美容



女性の健康

TENTIAL

リカバリー

SOXAI

健康管理

Runtrip

運動

なぜ睡眠は重要？

毎日眠る理由は、日中に細胞レベルで受けた身体のダメージを修復するためです。睡眠中には、単に「疲れ」をとるだけでなく、脳や心臓などの重要な器官のメンテナンスが行われています。人間が進化の過程で、無防備で危険な「睡眠」という時間を無くせなかったほど、眠ることは生きるうえで不可欠な役割を担っています。

自動運転するベッド「Active Sleep BED」

「Active Sleep」は、睡眠パフォーマンスを最大限に高め、翌日をよりアクティブに過ごすための私たちの提案です。当社グループの研究では、ベッドの角度を変えることで睡眠の質が向上することがわかっています。そこで「Active Sleep BED」は、その日の気分やコンディションに合わせて背・膝・足の角度を調整できる「入眠角度」を提案。入眠後もベッドが静かにゆっくりと自動運転し、快適な寝返りや朝の目覚めをサポートします。2024年には初のフルモデルチェンジにより最大角度を拡大。座り姿勢でもソファのように快適に利用できるようになりました。

「Active Sleep BED」で提案する眠りの付加価値

「入眠角度」という新提案

ベッドの背を少し上げるだけで呼吸が楽になり、リラックスした入眠へと導かれます。これが私たちの提案する「入眠角度」。日々のわずかな体調変化に合わせ、その日の自分に最適な角度へ自由に変えられます。



ベッドの自動運転

熟睡を感知すると、入眠角度から寝返りしやすいフラットな状態へ自動でゆっくり移行。設定した起床時刻には、再び自動でベッドの背が上がり、身体に負担をかけない自然で心地よい目覚めを優しく促します。



マットレスの硬さを自在に調整

その日の体調に合わせた最高の寝心地を、100万通りの組み合わせからコントロール。頭や肩、腰など、身体の部位ごとに硬さを細かく調整できるため、どんな体型の方でも理想的な寝姿勢で快適に支えます。



KITTE大阪に「眠りギャラリー」を出店

2025年4月、JR大阪駅直結の商業施設「KITTE大阪」内に、直営店である「眠りギャラリー」を出店しました。商業施設に直営店を出店したのは初めてです。「KITTE大阪」が位置するうめきた地区は関西で最大規模の再開発が進み、注目度が高まっています。当地域において、利便性の高い商業施設に出店することで、より体験してもらいやすい環境を整えました。ギャラリーでは、ユーザー自身が背の角度を調整できる「Active Sleep BED」などを展示。実際にベッドの機能やマットレスの寝心地を体感していただけます。



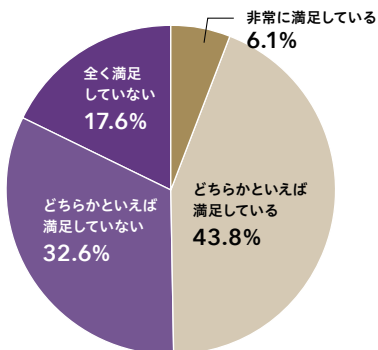
科学的なアプローチで、社会の「見えない睡眠課題」を解決する

現代社会には、本人すら気づかないうちに睡眠の質が低下するという課題が存在します。当社はこのような見えない睡眠課題に対し、「パラマウントベッド睡眠研究所」の科学的根拠と蓄積されたデータをもって実直に向き合っています。確かな研究成果を社会へ実装し、人々の豊かな日常を支えます。

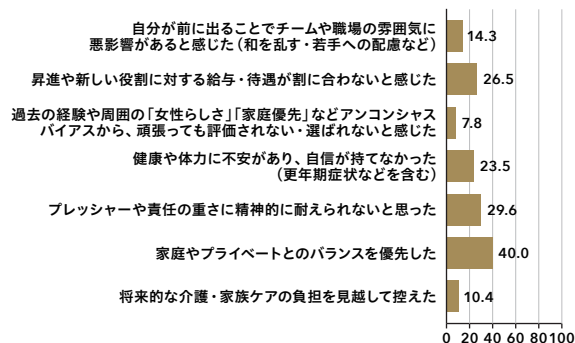
働く更年期世代の「静かな諦め」に向き合う「サイレント・シフト」

更年期世代の女性が健康課題により、周囲に相談できず静かにキャリアを離れていく「サイレント・シフト」。当社は株式会社社陽と人と共同で、45～55歳の働く女性2,000名への実態調査を実施しました。その結果、全体の約7割に不眠症状がある可能性が判明。慢性的な睡眠不足による日中のパフォーマンス低下や精神的なゆらぎが、放置できない深刻な不調のベースとなっている実態を浮き彫りにしました。この企業の「見えない人的損失」に直結する課題に対し、当社は「人的資本の沈黙」を解消する活動を推進。女性が生涯を通じて自分らしく輝き、持続可能に働き続けられる社会の実現を目指します。

キャリアや働き方への満足度



昇進を辞退した理由



調査結果をまとめた冊子

昇進意欲自体に差はないものの、新しい役割を辞退する背景には更年期症状の影響が示唆され、実際に23.5%が健康課題を理由に挙げています。不眠等の自覚は働き方の満足度や日々のパフォーマンス低下にも直結しています。

研究成果を社会へ実装し、睡眠から日常を豊かに

睡眠に関わる多様な課題と向き合い、解決することを使命とする「パラマウントベッド睡眠研究所」。最先端の寝具やセンサー技術を活用し、科学的根拠に基づいた研究開発を進めています。単に製品の付加価値を高めるだけでなく、蓄積されたデータや研究成果を広く社会へと実装。誰もが質の高い睡眠を得られる環境をシームレスに提供し、日々の生活の一部として世の中のウェルビーイング向上に役立つことを目指しています。



パラマウントベッド睡眠研究所のメンバー

ライフステージに寄り添い、体と心の軸を整える睡眠ケア

女性の体と心、そして睡眠の質は、女性ホルモンのバランスと密接に連動しています。パラマウントベッドは、ライフステージごとに変化する女性特有の課題に対し、自らを知り、健やかに働き続けるための具体的なセルフケアの仕組みを提供しています。

働く更年期女性の不調を可視化し伴走する法人向けサービス「Menorista. (メノリスタ)」

「Menorista.」は、更年期や月経周期に伴う睡眠・心身の不調に悩む女性をサポートするため、株式会社陽と人と共同で開発した新サービスです。独自のチェックツールによって個々の状態や不調のタイプを可視化し、エビデンスに基づいた最適な睡眠・生活習慣の改善アドバイスを提供します。ただ知識を得るだけでなく、日々の体調変化に寄り添いながら伴走することで、働く女性がパフォーマンスを維持し、自分らしいキャリアを諦めないためのセルフケアの定着を支えます。

Menorista. サービスの概要

女性従業員サポート	周囲の理解促進	組織分析	
「自分の身体を知る」ことから始める実践的な研修・ワークショップ 全女性従業員向け 	データと対話で自分を知り、整える 不調を抱える女性従業員向け 	理解を「腹落ち」に変えるアクティブラーニング型の研修 全社員対象 	“変化”を見える化し組織の学びへ 経営層、サービス導入ご担当者様等 

 Menorista. (メノリスタ)

「90日 わたしをみつめるねむりDIARY」

眠りと女性ホルモンのバランスには、密接な関係があります。「90日 わたしをみつめるねむりDIARY」は、「女性ホルモンの性質とライフステージを理解し、毎日の眠りを中心に生活習慣を見直し、体と心の軸を整えることで健やかな日々を送れる」との考えに基づいたセルフケアツールです。眠りと女性ホルモンに関する情報が満載なほか、オリジナルワークシートに睡眠状況や月経周期を記入することで、自分の体と心の状態を知ることにつながります。



一生を支える「眠る力」を。子どもたちの健やかな成長を育む睡眠学習

成長期の子どもの脳の発達を支える睡眠ですが、現代社会では睡眠不足や生活リズムの乱れが深刻な課題です。当社は、睡眠の専門知識を次世代へ届ける「眠育」を推進。子どもたちが睡眠の重要性を自ら学び、正しい生活習慣を身につけるための教育支援を通じて、未来の健康と可能性を広げていきます。



中学生向け睡眠教育プログラムを提供

「睡眠の大切さ」を学べる中学生向けの教材パッケージを、2022年より無料提供しています。学習指導要領に準拠しつつ、当社の知見を活かして開発された完全オリジナルの教材です。2025年3月までに累計約7万人の生徒に提供しており、今後もさらに多くの方々へ「睡眠授業」が届くことを期待しています。

[WELL-BEING for サイト 関連記事](#)



小学生向け副教材も制作

教育現場からの要望を受け、副教材「未来をつくる すいみんにドキドキ」も制作。2025年10月より、東京都・大阪府・京都府の小学校4～6年生を主な対象として2万部を無料で提供しました。当社グループの公式キャラクター「ぱらきち」も登場し、子どもたちが楽しく学べる工夫が盛り込まれています。

[WELL-BEING for サイト 関連記事](#)



スポーツの未来を睡眠で支えるアスリート支援

当社グループは、質の高い睡眠を通じてアスリートが最大限のパフォーマンスを発揮できるよう、製品提供や睡眠改善のサポートを行っています。過酷な挑戦を続ける選手や競技環境に寄り添い、睡眠の力でスポーツ界の発展とウェルビーイングに貢献します。

2026年アジア選手権優勝の快挙を支える

パラカヌーの瀬立モニカ選手が、2026年のアジア選手権で見事優勝を果たしました。当社は2015年から10年以上にわたり、独自の睡眠データ分析や寝心地の調整を通じて彼女のコンディショニングを伴走。日々の過酷な練習による疲労をリフレッシュさせ、世界の頂点へと挑み続ける圧倒的なパフォーマンスを支えています。

[WELL-BEING for サイト 関連記事](#)



ラグビー強化拠点JAPAN BASEへ製品導入

日本ラグビーフットボール協会の福岡の強化拠点「JAPAN BASE」の宿泊棟に、当社の睡眠計測センサーなどが導入されました。激しいコンタクトやハードな練習を重ねる代表選手たちの疲労回復には、質の高い睡眠が不可欠です。最先端の睡眠環境を提供することで、世界に挑むラグビー日本代表の強化を足元から支えています。



日清食品と挑む「食×睡眠」の新ウェルビーイング

当社は日清食品株式会社と共同で、一般生活者3万人を対象とした大規模調査を基に「『食』と『睡眠』によるウェルビーイング向上プロジェクト」を始動しました。両社従業員による1か月の検証では、幸福度の指標が約10%向上し、生産性向上や不眠リスク低減といった具体的な効果を実証しています。この知見を基に開発したのが、幸福の価値観を7つのキャラクターに分類する「幸せタイプ診断」です。個々の価値観に合わせた無理のない「食と睡眠のゴールデンアクション（推奨行動）」を提案することで、一人ひとりが自分らしい幸せを見つけ、日常をより心地よく、豊かに変えていくための歩みを支えてまいります。



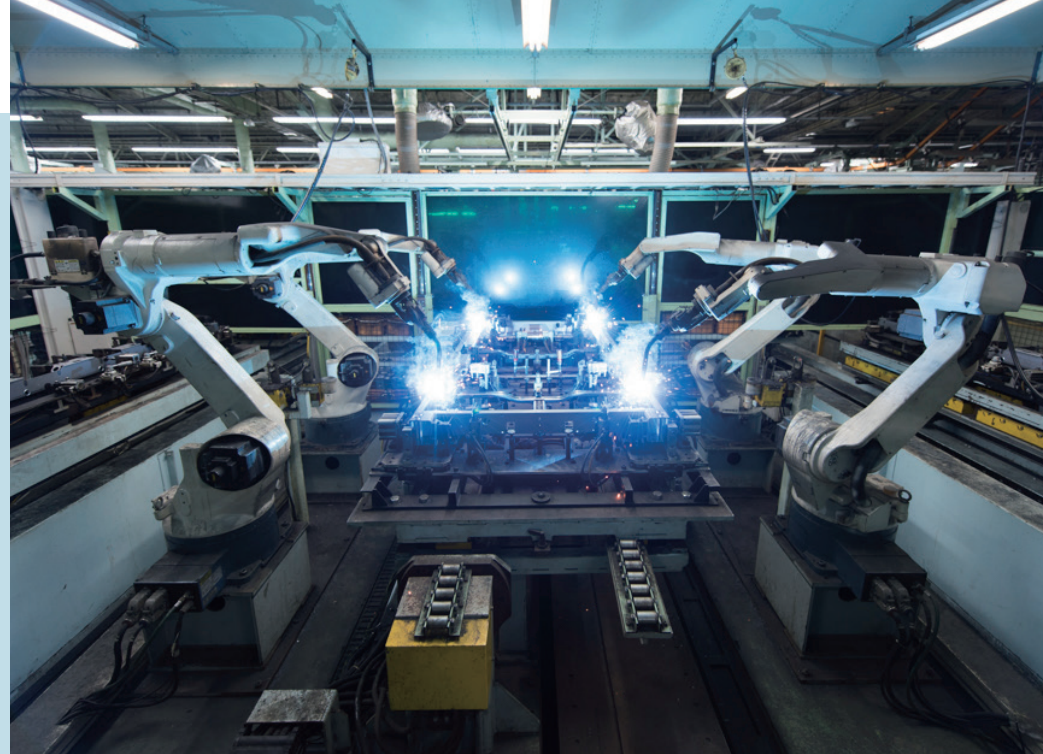
[「幸せタイプ診断」](#)

MATERIALITY

3

製品安全の追求

命や暮らしに寄り添う製品だからこそ、
「安全」の追求に終わりはありません。
厳格な品質管理と、使う人の視点に立った設計。
日々、技術と向き合い、安全性を磨き続ける。
お客さまが安心して過ごす毎日を支えるために、
私たちが徹底して貫く、ものづくりの姿勢を伝えます。



取り組みを通して達成を目指すSDGs項目



開発からレンタルまで貫く安全の追求

メーカーとしての「確かなものづくり」と、レンタル卸としての「徹底した衛生管理」。2つの機能が紡ぐ高度な品質管理体制で、お使いいただくすべての方へ変わらない安心をお届けします。

メーカー

- 効率のよい一貫生産体制
- 徹底した品質管理
- 国内外の連携による世界最適地生産体制

主力を担う千葉工場では、ベッドの生産ラインを中心に原材料から完成品までの一貫生産体制を構築しています。製造ラインをパターン化し、溶接から塗装、組立までの工程間を切れ目なく連続的に搬送することで、製造リードタイムの短縮と工程間在庫の最少化を実現。同時に、電力使用量や廃棄物量の削減など環境負荷低減も図っています。また品質管理面では、創業からのノウハウに最先端システムを組み合わせ、目視や手感による入念な検査や金属探知機での異物検査を徹底。本社・工場は国際規格「ISO9001」および「ISO13485」の認証を取得しています。

レンタル卸

- 迅速な対応が可能な、全国の店舗ネットワーク
- 清潔で安全・安心な製品を提供するメンテナンス体制

メンテナンスの行き届いた福祉用具を、必要なときにすぐにお届けできる全国ネットワークを構築し、安全・安心のための品質管理を徹底しています。洗浄・消毒工程では、自社開発の自動洗浄機により業務効率化と品質向上を両立。エタノール系製剤の噴霧や高圧水洗いに加え、食材の殺菌にも使われる環境にやさしい微酸性電解水のかけ流しや、オゾンによる確実な殺菌消毒を行っています。さらに、消毒済みの用具は定期的な抜き取り菌検査を実施し、その有効性を客観的に検証することで、万全の衛生管理を維持しています。



転倒転落研究会 (RoomT2) の活動支援

私たちは、医療安全管理者の交流する場である「転倒転落研究会 (RoomT2)」の活動を支援しています。「転倒転落事故による傷害0を目指して、エビデンスと知見を広めていく」という想いから、転倒転落対策のアプローチや、取り組み事例などを共有しています。その根底にあるのは、単に身体拘束や活動制限で動きを止めるのではなく、患者の自立と安全な療養環境を両立させるという視点です。最新のセンサー技術やベッドの工夫を現場の知見と融合させ、生活の質を守りながら事故を防ぐ仕組みづくりを推進しています。



活動レポートの発行



成果を上げる計画立案や院内標準化の事例に加え、「体動センサ」の睡眠データを活用した個別看護による、実践的な転倒転落対策を紹介しています。

インドネシアと日本でグッドデザイン賞を受賞

PT. Paramount Bed Indonesiaが開発したアジア・中南米向けの医療用ストレッチャーが、インドネシアの「Good Design Indonesia」においてTop10に選出され、「Best Design」を受賞しました。さらに、日本の「2025年度グッドデザイン賞」も併せて受賞しています。本製品は、患者の搬送をより安全かつ効率的に行うことを目的として開発され、安全性と効率性の両面を兼ね備えたデザインが高く評価されました。



K6 Transport Stretcher



Good Design
Indonesia



GOOD DESIGN
AWARD



MATERIALITY

4

従業員の健康・ダイバーシティ・働き方改革の推進

互いに尊重し合い、対話を尽くすことから、新しい挑戦が生まれます。
従業員が心身ともに健康で自分らしく輝けるよう、
多様な個性を認め合い、柔軟に働ける環境づくりを推進。
人と組織がともに育ち、新たな価値を創造する取り組みを伝えます。

取り組みを通して達成を目指すSDGs項目



WELL-BEINGを支える「人」と「組織」の基盤をつくる

人財育成

軸となる考え

「やりがいの創出」
「成長支援」

取り組み

- 従業員全体の育成強化
- グローバル人財の採用・育成



ビジョン実現に向け、企業の源泉である人財基盤の強化に注力しています。「やりがいの創出」と「成長支援」を軸に、採用からリーダーシップ育成まで多角的に推進。従業員全体の育成とグローバル人財の強化を通じ、未来を自ら創造できる強い組織を築きます。

社内環境整備

目指す風土

「コミュニケーションを尽くす風土」
「挑戦を援ける風土」
「一人ひとりを尊重する風土」

取り組み

- ダイバーシティの推進
- 従業員の健康への取り組み
- 働き方改革の推進
- DEIの推進



多様な感性を製品やサービスに生かすため、互いを尊重し、健康に働けるウェルビーイングな環境づくりを進めています。「コミュニケーション」と「挑戦」を援ける風土のもと、DEIや健康経営、働き方改革を推進し、多様な人財が活躍できる組織を目指します。

人財育成

自発的な「学習」と「挑戦」の連鎖が、革新的な価値を生む

従業員の「成長したい」という意欲を後押しするため、私たちは「学習」と「経験」を循環させる仕組みを整えています。

学びのプラットフォーム「パラマウントキャンパス」で蓄えた知識を、自らのぞむキャリアに挑む「キャリアチャレンジ制度」で形にする。このサイクルが組織の活力を生んでいます。

■ 従業員全体の育成強化

学 習

従業員の学ぶ意欲と行動力を後押しする自己啓発制度として、学びの集合体である「パラマウントキャンパス」を整備。220を超える通信教育講座を提供しています。さらに、学びをポイント化して昇格要件に組み込むことで、従業員の成長をうながします。また、高度専門人財の育成を目的としたビジネススクールや大学院への派遣、DX講座の開設など、多様な学習支援施策を実施しています。

通信教育講座「パラマウントキャンパス」の受講者数

2025/3 **819**名 2026/3 **976**名



経 験

一人ひとりの特性や期待される役割を明確にし、能力開発と評価を紐づけた新たな人事制度を導入し、従業員のチャレンジと学びを推進。また、新しいことへのチャレンジを希望する従業員を後押しする、「キャリアチャレンジ制度」を整備し、現在までに19名が活用しています。さらに、グループ会社の垣根を越えた人財交流を行っています。適材適所の実現に向けて、職種別人財像や能力の「見える化」を進め、より適切な配置・教育の実現を推進していきます。

■ グローバル人財の採用・育成

グローバル化への対応力を高めるため、高度な語学力を持つ人財や、海外で活躍したいという強い意欲を持つ人財を積極的に採用しています。入社後もTOEIC®のスコアアップ支援に向けた語学教育を充実させているほか、2020年にはキャリアチャレンジ制度の一環として「海外トレーニー制度」を設置。公募によって期間限定の海外勤務を体験することができる取り組みです。



社内環境整備

多様性を力に変え、全員が「自分らしく」輝ける組織へ

2025年9月、従来掲げてきた「コミュニケーションを尽くす風土」「挑戦を援ける風土」に加え、「一人ひとりを尊重する風土」を目指すべき風土として新たに決めました。

性別や年齢、国籍などにかかわらず、対話と尊重をベースにDEI（多様性・公平性・包括性）を加速させています。

■ DEIの推進に向けて

DEI（多様性・公平性・包括性）推進の本格化に向けて、まずは社内での意識改革を促すためのプロジェクトを開始しました。経営層から段階的に、DEIへの理解を深めるワークショップやディスカッションを行っています。また、多様な人材の活躍を促進するため、働き方に関する各種制度を整備しています。ジェンダーギャップ解消に向けては、管理職に占める女性労働者の割合、男性労働者の育児休業取得率、新卒採用における女性比率（入社人数比）の各指標に対して目標を設定。達成に向けた施策を実行しています。これらの取り組みにより、従業員一人ひとりが公平に活躍できる職場をつくります。

新卒採用における女性比率（入社人数比）

	2025/3	2026/3	毎期目標
パラマウントベッド株式会社	37.5%	50.0%	30%
パラマウントケアサービス株式会社	30.0%	57.1%	30%

※パラテクノ株式会社においては、新卒採用を行っておりません。

挑戦する社員たち



大槻 朋子

パラマウントベッド株式会社
経営企画本部 マネージャー
プロジェクトリーダー

【WE CHANGE AWARDS 2025】個人部門 入賞

ソーシャル経済メディア株式会社NewsPicks Studiosが主催する「WE CHANGE AWARDS」は、女性が活躍する社会に向けて「本質的な変化」が求められている中、柔軟に経験を積み重ねている次世代の女性リーダーや、「本気で変わろうとしている」企業を発掘するアワードです。パラマウントベッド株式会社の大槻朋子さんが、2025年の本アワード個人部門で入賞しました。産後の経験から「Sleep × Femtech」事業を立ち上げ、サービスローンチまでいたったことが評価されました。

「Tsubaki Project」

女性をはじめとする多様な視点を生かす「Tsubaki Project」では、産科・小児科領域における製品開発や、企画・マーケティング活動などに取り組んでいます。同プロジェクトから生まれた製品は、「第11回キッズデザイン賞」の奨励賞（キッズデザイン協議会会長賞）や「第5回かわいい感性デザイン賞」の企画賞、「ウェルビーイング・アワード2026」モノ・サービス部門におけるGOLDを受賞しています。



社内環境整備

個人のライフスタイルと調和する職場環境づくり

一人ひとりのライフステージに応じたワークライフマネジメントを確立するため、柔軟な働き方と、信頼関係を築くためのコミュニケーションを大切にしています。多様な人財が活躍できる環境整備に向け、画一的な枠組みにとられない選択肢の拡充に努めています。

■「休む側」も「支える側」も尊重する制度

育児休業制度の利用率を高めるため、育児休業は取得するのが当たり前であり、仮に取得しない場合はその理由を申請しなければならない仕組みとしました。また、休業者の業務を引き継ぐ社員をサポートするため、「休業フォロー制度」を採用しています。業務量増加に対する金銭的サポートを行うとともに、休業取得者の心理的安全性を支えることを目的としています。

男性労働者の育児休業取得率

	2025/3	2026/3	2029/3 (目標)
パラマウントベッド株式会社	66.7%	89.7	85%
パラテクノ株式会社	81.8%	109.1※	50%
パラマウントケアサービス株式会社	71.4%	45.0	50%

※育児休業取得率は、2022年より育児介護休業法に基づく以下の算定方法に変更
2024年に1回目の育児に伴う休業を取得した男性社員数÷2024年に子供が生まれた男性社員数×100
パラマウントは育児休業取得率の算出対象となる取得必須の有給育児休暇制度に基づく育児休業取得率の算出においては、事業年度と当該休暇や育児休業の取得期限が異なっていることにより、分子と分母の対象者の範囲が異なるため、必ずしも100%にはなりません。

制度利用者の声



平山 光良
パラマウントベッド株式会社
営業本部 大阪支店
医療事業課

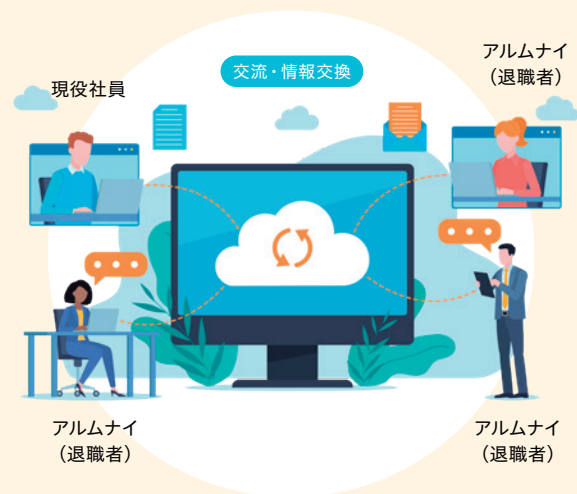
育休の経験を生かし、 家族とすべての人にウェルビーイングを

私の勤務する大阪支店には「育休取得は当たり前」という風土があり、気兼ねなく育休を取得できました。休業期間は、子どもが生まれてまだ3週間ほどの、一番手探りな時期からの約1か月間。初めての子育てはわからないことの連続で、寝ていた子どもが起きたり泣いたりするたびに、対応に追われました。特に子どもが突然体調を崩したときなどは、夫婦で協力しなければ、冷静に対処するのは難しかったかもしれません。

この経験を通じて「家族で助け合う大切さ」を実感したからこそ、復職の際には、育児休業を続ける妻と今後も支え合っていくための環境づくりができました。また、この育休は周産期医療向けなどのケア製品の価値を、実際に使用する立場として再認識する機会にもなりました。現場のリアルを肌で感じて獲得した徹底的なユーザー視点を生かし、これからもより多くの人へウェルビーイングを届けていきます。

アルムナイネットワークの本格運用

2021年に社内ですtartした「若手提言プロジェクト」をきっかけに、当社で働いたご縁のあるアルムナイ（退職者）と公式につながり続けるネットワークを導入しました。本ネットワークでは、現役社員とアルムナイ、またアルムナイ同士の交流・情報交換を促進します。この取り組みはダイバーシティ推進の一環であり、現役社員とアルムナイ一人ひとりのキャリアに寄り添うことで、風通しのよい環境づくりにつなげていきます。



家族との絆を深めるファミリーデーを開催

社員と家族の相互理解を深める「ファミリーデー」。国内では明治神宮球場を貸し切り、プロが立つグラウンドの開放やスタジアムツアー、スポーツフェスティバルなどを開催しました。普段は見られない職場の仲間の姿や特別な体験に、参加した家族からは多くの笑みがこぼれました。メキシコなどの海外法人でも趣向を凝らしたイベントを実施しており、今後も対話を尽くし、互いを尊重し合える温かい組織風土づくりを推進します。



パラマウントファミリーデー

[WELL-BEING for サイト 関連記事](#)



パラマウントベッド・メキシコ「ファミリーデー」

[WELL-BEING for サイト 関連記事](#)

くるみん認定を取得

当社は2025年9月、厚生労働省より「くるみん認定」を取得しました。育児休業制度の利用促進や時短勤務などを推進したことが認定取得につながりました。今後も子育て支援に取り組み、働きやすい職場づくりを進めます。



健康経営優良法人の認定を取得

パラマウントベッドホールディングス株式会社およびグループ会社3社が「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」に認定されました。今後も健康経営を推進し、従業員の健康促進に取り組んでいきます。



MATERIALITY

5

環境に配慮した事業活動

豊かな地球環境は、健やかな暮らしの基盤です。

私たちは、製品のライフサイクル全体を見据え、
脱炭素社会や循環型社会の実現に挑んでいます。

ものづくりを通じた環境負荷の低減に向けて、
未来の地球へ、確かな安心をつなぐ活動を伝えます。



取り組みを通して達成を目指すSDGs項目



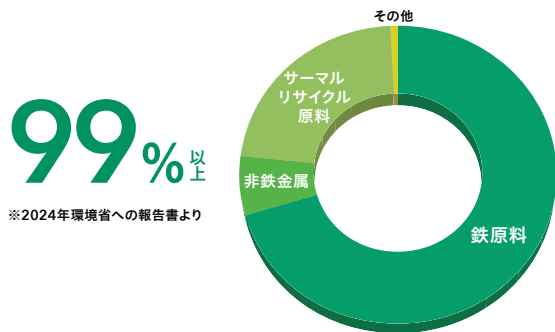
製品を資源として未来へつなぐ「RE-BED project」

金属資源の枯渇が懸念される中、私たちは「広域認定制度」を活用し、自社製品を責任を持って回収・再資源化する「RE-BED project」を推進しています。

2050年には鉄鉱石も含めたほとんどの金属が現有埋蔵量を使い切ってしまうといわれており、リサイクル技術の革新が求められています。当社では広域認定制度を活用し、自社製品をリサイクルする「RE-BED project」を実施しています。本プロジェクトは、医療施設をはじめ、高齢者施設、福祉用具レンタル事業者の皆さまから、使用済みとなった当社製のベッドやマットレス、柵や手すりなどを回収・分別・解体し、金属や燃料などへ99%以上再資源化するものです。再資源化の過程においては、スクラップ材を再利用した電炉材を採用。従来の鋼材に比べてCO₂排出量を削減することができ、地球温暖化対策に貢献します。これまでに全国約2,700事業所のお客さまに当社の取り組みをご活用いただいています。

回収したベッドの再資源化率

99%以上の高い水準で再資源化できています。

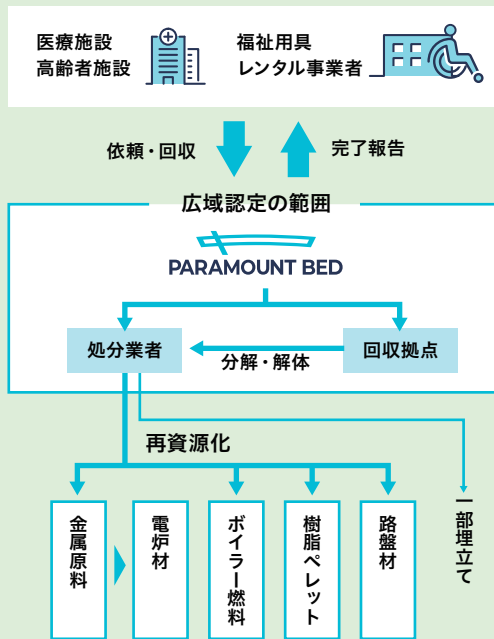


広域認定による当社の累計処理量

広域認定による当社の処理量は年々拡大しています。



再資源化の流れ



眠りの質を、地球の生命力へ

毎日の心地よい眠りが、地球の豊かな未来を育む。睡眠データの蓄積でマングローブを植林する、サステナブルな挑戦の軌跡。

「いい眠り」が、インドネシアの豊かな森を育てる。当社の睡眠アプリ「Active Sleep App」に蓄積されるユーザーの睡眠スコア（眠りのポイント）に応じてマングローブの植林を実施するこのプロジェクトは、2026年3月現在、累計86,450本の植林を達成しています。取り組みの原点は、2020年の健康事業の本格化。ユーザー層の広がりに伴い、環境貢献の輪もさらに大きく広げたいという想いから2022年3月にプロジェクトが始動しました。“わたし”のウェルビーイングを高めるアクションが、そのまま“地球”のウェルビーイングに還元される——。この循環のストーリーが、ユーザーの睡眠改善に向けた前向きなモチベーションとなっています。私たちはこれからも、お客さまとともに地球の未来を守る広大な森を育ててまいります。



植林したマングローブの現在の様子と、
養殖したバナメイエビ



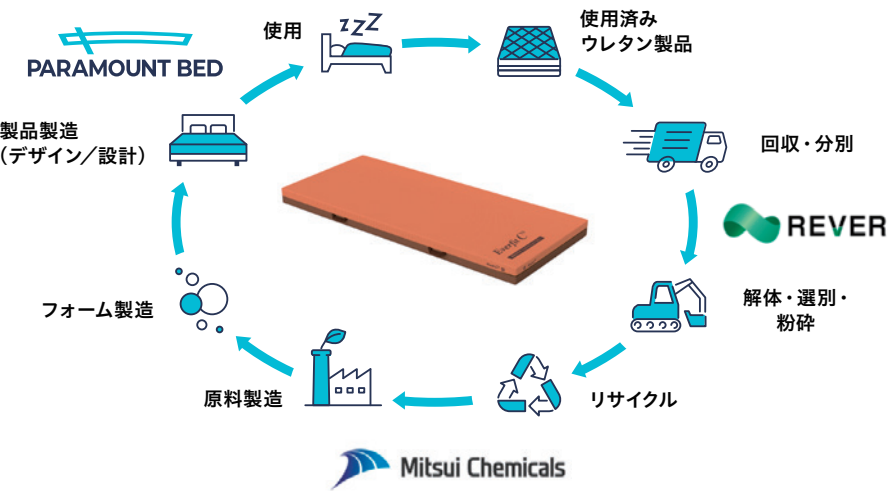
なぜマングローブなの？

他の森林に比べCO₂の吸収・貯蔵能力が非常に高く、日本の森林の約2倍の効果があるといわれているためです。地球温暖化防止と沿岸の生態系保全の双方に大きく貢献できる、地球にとって極めて重要な森です。



廃棄困難な「ベッドマットレス」を再び資源へ。3社共創の挑戦。

高齢化が進む日本ではベッドマットレスの需要が増し、廃棄される数量も増加することが見込まれています。一方で、マットレスは廃棄物としての処理が難しく、リサイクルの仕組みも日本にはまだありません。社会課題を解決するため、三井化学株式会社、リバー株式会社と連携して、使用済みのマットレスから新しいマットレスを再生産するプロジェクトに取り組んでいます。循環型社会の実現に向けて、3社で議論・実証を進めていきます。



▶ 関連動画を見る

徹底した省エネと再生可能エネルギーの導入拡大

当社グループは、企業活動や製品のライフサイクル全体にわたって、環境負荷の低減を目指しています。気候変動に係るリスクおよび機会が、当社グループの事業活動や収益などに与える影響は、気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 提言に沿って整理しています。2026年3月期のGHG排出量は基準年度である2014年3月期比マイナス43.9%の3,821tCO₂となりました。2050年のカーボンニュートラル実現を目指し、さらなる削減活動に取り組みます。

Scope1 / Scope2排出量

基準年度 2014/3	目標 2031/3	2024/3	2025/3	2026/3
6,813t CO ₂	30% 削減	3,855t CO ₂	4,110t CO ₂	3,821t CO ₂

※指標はScope1/Scope2に該当するGHG排出量とし、算定対象はパラマウントベッドホールディングス株式会社・パラマウントベッド株式会社としました。



TCFD開示情報の詳細は当社Webサイトをご覧ください



MATERIALITY

6

コンプライアンスの徹底

健全な経営と、誠実な行動の積み重ねこそが、
私たちの未来を支えます。

従業員一人ひとりが正しい判断基準を持ち、
公正で透明なビジネスを徹底していくこと。
社会の期待に応え、信頼され続けるための取り組みです。

取り組みを通して達成を目指すSDGs項目



コンプライアンス

基本的な考え方

パラマウントベッドグループは、企業理念およびグループ企業行動憲章を定め、事業活動を通じて社会貢献を実践することで社会的責任を果たし、企業価値の一層の向上に努めます。

主な取り組み

企業倫理の取り組み

- ・コンプライアンス研修の実施
- ・企業倫理ガイドブックの作成や研修での活用
- ・企業倫理室からのメッセージの定期配信

透明性の高いガバナンスの推進

- ・従業員意識調査の適時実施
- ・相談・通報窓口の設置
- ・遵守状況の多面的なモニタリング

グループ企業行動憲章

「グループ企業行動憲章」は、企業理念の実現をより確かなものとするため、グループ社員の一人ひとりの行動の規範・よりどころを示したものです。この憲章は、パラマウントベッドグループの役員・社員全員が「医療」「介護」から「健康」まですべての人にかかわる企業の一員として、また社会の一員としてどのような行動をとるべきなのかということについての基本原則をあらわしたものです。この憲章が各グループ会社の従業員へ浸透・定着するよう取り組んでいます。

私たちは全員参加で、「医療」「介護」から「健康」まですべての人にかかわる企業としての社会的使命と社会の一員としての責任を自覚し、以下の原則に則って誠実に行動します。

1. お客様に満足していただける安全で高品質な製品・サービスを提供することにより、あらゆる人の健康的な日々とよりよい人生の実現に向け、貢献します。
2. 事業活動にかかわる関連法規や社会の正しいルールを理解・遵守し、高い倫理観をもって誠実かつ公正に行動します。
3. 企業情報を適切に管理するとともに、適時適切に情報を開示し、社会からの理解と信頼を築いていきます。
4. 地球環境の保全を目指し、環境に配慮した事業活動を行います。
5. 従業員一人ひとりの多様性や価値観、働き方を尊重します。
人権方針をさだめ、すべてのステークホルダーによる人種、民族、宗教、年齢、国籍、出身、性別、性的指向、性自認、妊娠、婚姻関係、学歴、政治的見解、健康状態等による差別行為を一切容認しません。
6. 国や地域の文化・慣習を尊重し、社会の発展や向上に貢献します。
7. 取引先・協力企業とともに、バリューチェーン全体で人権・労働・環境への配慮を徹底し、持続可能な取引関係を築きます。
8. 経営トップは、本憲章に則り率先垂範して行動します。万一本憲章に反する事態が発生したときは、経営トップ自らの責任で問題解決に取り組み、原因究明・再発防止に努めます。

リスクマネジメント

基本的な考え方

当社グループは、全社的なリスク管理体制の強化を目指し、リスク管理基本規程を制定し、個々のリスクごとに責任部署を定めリスク管理を行っております。万一重大なリスクが発生したとき、もしくは発生するおそれがある場合には、同規程に基づき、原則として代表取締役社長を対策本部長とした緊急対策本部を直ちに招集します。必要に応じて外部の専門家（顧問弁護士・税理士等）の指導助言を受け、迅速な対応を行うことで被害の最小化に努めるとともに、再発防止の対策を講じる体制をとっております。

事業等のリスクと対応策の例

主なリスク	対応策
事業環境等における制度変更等のリスク 主力製品である医療・介護用ベッドは、公的制度のもとで公定価格（診療報酬・介護報酬）が設定されている製品ではないものの、医療保険制度または介護保険制度等に係る制度変更や定期的な公定価格の改定の影響により、当社グループの最終顧客である医療施設等の設備投資が減少するリスク。	医療・介護の分野で長年培ってきた技術や知見をもとにした健康の分野での取り組みの強化。
海外市場での事業拡大に伴うリスク 輸出・輸入規制の変更、技術・製造インフラの未整備や人材の確保の難しさ等、国内市場では通常想定されないリスク。	生産拠点・販売拠点の所在する国・販売する地域における政治・経済・社会的状況や関連する規制等の情報（特に各国の環境関連規制、製品の安全性・品質関連規制、医療機器登録関連規制等の強化、変更等）の日々の収集と必要な対応の実施。
特定の資材等の調達に伴うリスク 当社グループに不可欠な資材の供給に遅延・中断があり、当該資材の供給不足が生じ、タイムリーに調達できないリスク。	仕入れ先や供給品の切り替え先、代替策の拡充。汎用部品の採用。
製品や部品（製品等）の欠陥によるリスク 予測し得ない製品等の欠陥が生じ、それが大規模な無償交換（リコール）につながり、多大な費用負担が発生し、当社グループの社会的な信用が低下するリスク。	品質システムに関する国際規格や各種の自社基準に基づく製造など、製品の品質管理への万全の体制整備。賠償責任保険の付保。
自然災害等によるリスク 地震等の自然災害または大規模火災等により、当社グループや調達先の生産拠点に重大な損害が発生し、操業中止、生産や出荷の遅延や減少等が発生するリスク。	大地震等の発生を想定した事業継続計画（BCP）の策定、安否確認システムや緊急時の連絡網の整備、定期的な訓練の実施。
情報セキュリティに関するリスク クラウドサービスやネットワークの大規模な障害、サイバー攻撃等の想定を超える出来事により、情報システムの停止や情報流出が発生し、当社グループの社会的な信用が低下するリスク。	損害賠償保険に加入するとともに、従業員の情報セキュリティ意識を向上させるなどの取り組みを実施。

人権への取り組み

経営理念を実現するうえでのグループ従業員一人ひとりの行動規範を示す「パラマウントベッドグループ企業行動憲章」にて人権の尊重を掲げており、本方針において、当社グループの人権尊重に対する考え方を改めて明確にしました。

1. 人権に対する基本的な考え方

当社グループのビジネスが、直接または間接的に人権に影響を及ぼす可能性があることを理解しています。「国際人権章典」及び国際労働機関（ILO）の「労働における基本的原則及び権利に関する宣言」に規定された人権を尊重するとともに、「国連ビジネスと人権に関する指導原則」を支持し、実践に向け取り組みます。

「国際人権章典」は、「世界人権宣言」、「市民的及び政治的権利に関する国際規約」、「経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約」という3つの文書の総称です。「国際人権章典」は、国際的に認められた人権保障の基本的な枠組みとされています。

「労働における基本的原則及び権利に関する宣言」には、「結社の自由及び団体交渉権」、「強制労働の禁止」、「児童労働の実効的な廃止」、「雇用及び職業における差別の排除」が謳われています。

2. 人権方針の適用範囲

本方針は、当社グループのすべての役員及び従業員に適用します。また、取引関係のあるビジネスパートナーの皆様に対しても、本方針への理解と支持を求め、ともに人権の尊重に取り組むように働きかけます。

3. 人権尊重への取り組み

ともに働く人々や従業員一人ひとりの多様性や価値観、働き方を尊重し、人種、民族、宗教、年齢、国籍、出身、性別、性的指向、性自認、妊娠、婚姻関係、学歴、政治的見解、健康状態等による差別行為を一切容認せず、児童労働や強制労働、あらゆる種類のいじめ・ハラスメントを禁止します。また、ダイバーシティ&インクルージョンを推進するとともに、従業員の不安や悩みを解消し、一人ひとりがいきいきと活躍するための安全で働きやすい職場環境の提供に努めます。

4. 人権方針の周知浸透・教育

従業員全体の人権の尊重に対する意識を強化し人権侵害リスクを低減するために、人権方針の浸透、遵守に向けて、教育・啓発に継続的に取り組みます。

5. 人権に関するガバナンス体制

人権尊重の取り組みに対して、企業倫理担当部門にて関係部門と連携しながら施策の実施・管理を行います。取り組みの結果は、適宜取締役会に報告をされています。

6. 人権デュー・デリジェンスの実施

様々なステークホルダーとの対話を通じて、自社の事業活動が人権に及ぼす負の影響の把握、予防、軽減に適切に対処するように努めます。

7. 是正・救済

当社グループのビジネスにおいて、人権に対する負の影響の誘発・助長等が明らかになった場合、関係者と対話し、適切な手続きを通じてその是正及び救済措置を講じるように努めます。

また、取引関係のあるビジネスパートナーを通じて、当社グループの事業、製品またはサービスが人権への負の影響に直接関連していることが明らかとなった場合には、当該ビジネスパートナーに対して是正を働きかけます。

8. ステークホルダーとの対話・協議

当社グループの事業活動の影響を受ける人々の意見を確認し理解することの重要性を認識しており、ステークホルダーとの対話と協議を真摯に行うことで人権を尊重していきます。

9. 情報開示

当社HP等の媒体を通じて人権尊重の取り組みについて適宜適切に開示をしていきます。